

# 会報 比較家族史 35

事務局 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7 弘文堂気付  
郵便振替(会費)00130-4-25222 (年報バックナンバー・その他)00180-3-604964

## 比較家族史学会 第三八回研究大会

日時 二〇〇〇年一〇月二八日(土)・二九日(日)  
場所 二八日 京都文教大学 弘誓館G103  
宇治市横島千足八〇

二九日 キャンパスプラザ京都四階第3講義室  
京都市下京区東洞院通七条下る二丁目東塩小路町  
六三〇一五(京都中央郵便局西側)TEL:075-353-5222  
テーマ 家族の脱制度化と国民国家

■一日目(一〇月二八日)午前一〇時〜(9:30受付開始)

◆会長挨拶 利谷信義 10:00〜10:10

◆自由報告

院政・鎌倉時代における婚姻形態

辻垣晃一(龍谷大学大学院) 10:10〜10:40

婚姻観にみる伝統と革新―中国山西省を事例として―

陳鳳(神戸学院大学大学院) 10:40〜11:10

離婚後の子の帰属をめぐる法制

―明治民法における親権と監護の分離まで―  
広井多鶴子(群馬女子短期大学) 11:10〜11:40

◆総会

◆昼食 11:40〜12:40

◆テーマ報告 第一部 12:40〜13:45

テーマ趣旨説明 田中真砂子 13:45〜14:00

国民国家と近代家族―比較研究の可能性と問題点―

西川祐子(京都文教大学) 14:00〜14:40

日本植民地の家族政策―旧慣調査・戸籍・家族制度―

中生勝美(和光大学) 14:40〜15:20

(休憩)

国民統合と家族イメージ

①戦前日本 家族イメージの構築と天皇・皇室像  
長志珠絵(神戸市外国語大学) 15:30〜16:10

・国民統合と家族イメージ

②戦後日本 正月新聞における(天皇)一家像の表象  
北原恵(京都文教大学非常勤講師) 16:10〜16:50

国民統合と家族イメージ

③インドネシア 国民文化としての家族(Keluarga)の構築  
白石さや(京都文教大学) 16:50〜17:30

◆懇親会 キャンパスプラザ京都 2階レセプションルーム  
(京都市下京区東洞院通七条下る二丁目東塩小路町  
六三〇一五)

18:30〜20:30

■第二日(一〇月二九日)  
◆テーマ報告 第二部  
・西欧近代刑事法における(名譽の事由)  
―家族と国家の比較史―  
小谷眞男(お茶の水女子大学) 9:30〜10:10

◆自由報告

国民国家と国際結婚―国民国家間近代家族という視点―

嘉本伊都子(日本学術振興会海外派遣研究員  
ロンドン大学SOAS) 10:10〜10:50

(休憩)

・国民国家と買春保障―日本の近代化と女性の性的自己決定―  
若尾典子(広島女子大学) 11:00〜11:40

人口政策と家族計画―占領期日本の場合―  
荻野美穂(大阪大学) 11:40〜12:20

◆昼食・シンポジウム打ち合わせ 12:20〜13:20

◆シンポジウム総合討論 13:20〜16:20  
司会…田中真砂子 白石玲子 三成美保

(休憩)

運営委員長 田中真砂子

運営委員 上田富士子 遠藤央 白石さや 白石玲子

鈴木七美 谷口裕久 西川祐子 三成美保

## 研究大会テーマについて

現在、家族の崩壊を憂う声がしばしば聞かれるが、ほんとうに家族は崩壊しているのだろうか？先進諸国に共通して起こっているのは、家族の崩壊ではなく、家族の脱制度化であるとしたら、同じ現象が違ってみえてくるのではないだろうか？

近代は、すぐれて家族の時代であった。多くの国家は、歴史的に、家産・家業と結びついた経営体としての家族の長と「契約」を結び、まずは家長の集団を「国民」とみなすことよって出発した。家族はこの意味で国民国家の基礎単位であったということが出来る。国民国家はその対応物として「近代家族」という制度を創出したのである。こうした経緯を考えれば「近代国家」たらんとする国々が、その基礎単位である「家族」とその構成員たる個人をどのようなものとして規定し、登記するかに意を注いだのは当然のことといえよう。家族イメージはまた国民統合のためにも用いられた。したがって戦前の日本だけでなく、すべての国民国家はある意味で「家族国家」であったともいえよう。現在世界規模で見ると、一部の国では国民国家体制の整備にともない、また別の諸国では旧来の国民国家の枠組みをなしくずしにするようなグローバル化にともない、近代家族という制度は揺らぎ始めている。家族の脱制度化が始まった今日、近代家族という制度と国家間体制とを研究対象として再吟味する必要があると私たちは考えた。家族の変容は

国家体制の変容とどう関連するかという問題は、家族を単に公領域に対する私領域の問題としてではなく、政治の問題にするはずである。

従来と比較家族史研究は国民国家間で比較を行うことの根拠を必ずしも明確にしないまま政策、統計、制度などの比較を行うことが多かった。家族の比較といっても世界を覆う国家間システムこそが比較の前提であることも十分に意識されていたとはいえない。それぞれの国家の家族政策は、世界においてそれぞれの国家が占める位置の上昇あるいは維持のためにとられた戦略という側面もあった。前研究大会はすでにカネ、モノ、ヒトが国境を越えて移動するポスト国民国家時代の到来を見据えて、国境を越えた比較家族研究の重要性を訴え、「東アジアの比較家族」というブロック単位のテーマを提出した。本大会では、その問題意識を継承するとともに、もう一度改めて国家装置として創出された近代家族という制度の比較研究を提案したい。(文責・田中真砂子)

### 運営委員会からのお知らせ

1 宿泊については、七月にお送りした宿泊リストをご覧ください。各自お早めに御予約下さい。

2 研究大会・懇親会の出欠について、同封のハガキにて、十月十七日までにお知らせ下さい(必着)。なお大会参加費は二千五百円(学生会費千円)、懇親会費は五千円(予定)です。当日お支払い下さい。

大学周辺は昼食に利用できる食堂などが少ないので、なるべく弁当をご利用下さい。弁当は二日間とも注文を受け賜ります。お茶を含めて弁当代は千円の予定です。

3 研究大会の発表者(自由発表・テーマ発表いずれも)は、十月二三日(月、必着)までに左記運営委員会宛にご送付下さい。レジメが複数枚にわたるときは必ず綴じてください。大会会場では総てのレジメを一括して紙袋に入れ参加者に手渡す予定です。

4 学会初日(二八日)は京都文教大学で行います。大学へは京都駅から近鉄京都線向島駅下車。本学スクールバスで約五分です。向島駅には普通または準急でないと停まりませんのでご注意ください。向島からタクシーでも五分、一区分です。

第二日目(二九日)は京都駅前のキャンパスプラザ京都で行います。両者とも五頁・六頁の地図をご覧ください。

5 大会に関するお問い合わせは大会事務連絡先(左記)までお願いします。  
連絡先  
田中真砂子

(大学) 千六二〇〇四二宇治市横島千足八〇  
京都文教大学 千〇七四二五二五八六(田中研究室)  
第三八回研究大会運営委員会  
千六二〇〇四二宇治市横島千足八〇

京都文教大学 文化人類学科学務室  
千〇七四二五二五八八  
Fax 千〇七四二五二四八一

## 事務局からの連絡

### 1 会費納入のお願い

未納分の有無に関わらず、全員に振込用紙を同封しております。封筒住所ラベルの下に既納年度が記載されております。年会費は、個人会員は三〇〇〇円、賛助会員は五万円です。なお封筒の住所ラベルに記載された数字は九月一日現在のもので、行き違いの節はご容赦ください。

### 2 『比較家族史研究』のバックナンバーについて

創刊号と一〇号以外については、まだ若干の在庫があります。購入希望の方は、左記宛ご連絡下さい。比較家族史研究は会員には一冊無料配布しておりますが、バックナンバーおよび新刊を二冊以上購入の場合は有料(約二割引)となり、非会員も同様です。この場合の郵便振替番号は会費納入の振替番号とは異なります。送金の際はご注意ください。

〒一八四八五〇二 東京都小金井市貫井北町四一  
東京学芸大学地域研究学科吉野研究室気付  
比較家族史学会事務局年報発送係

### 3 『事典家族』の購入について

本学会の一〇周年事業として刊行されました『事典家族』は、会員は定価(二二二〇〇円)の二割引で購入できます。購入希望者は本学会の会員であることを伝えて、直接弘文堂まで申

込んでください。  
申込み先

〒二〇一〇〇六三 東京都千代田区神田駿河台一七  
弘文堂編集部 浦辻雄次郎様  
Tel 〇三―三九四七〇三三 Fax 〇三―三九四一七三四  
Tel 〇三―三九四七〇三三 Fax 〇三―三九四一七三四

## 理事会議事録

日時 二〇〇〇年六月九日

場所 新潟会館

出席者数(委任状含む) 三八名

### 1 退会、新入会員の承認(別項参照)

退会者承認。入会希望者九名中八名承認。一名は書類が提出され次第再検討と決定。入会手続き用紙の書式を変更し、メールアドレス欄追加を決定。

### 2 次回以降の研究大会の準備状況

今回は京都文教大学にて、「家族の脱制度化と国民国家」として開催予定。次々回以降は二〇周年特別企画として検討。

### 3 『比較家族史研究』の編集について

年度中刊行に向けて編集集中。

### 4 『シリーズ比較家族』の刊行進捗状況

『父―家族概念の再検討に向けて』、『恋愛と性愛』、『介護と家族』の三冊につき編集作業継続中。

### 5 学術会議関連事項について

・基礎法研連関係について  
・日本学術協力財団インターアカデミー参加について

### 6 著作権協議会との委任契約について

分配金の報告(一九九九年は六万五千円受領)。

### 7 二〇周年記念特別企画について

二〇〇一年春、秋大会につき、特別委員会を設置し、検討する。

### 8 その他

・学会報告および学会誌刊行につき、学術情報センターの利用について。  
・日本性教育協会からのインフォメーション。  
・大会報告者の人選、基準について。

## 総会議事録

日時 二〇〇〇年六月一〇日

場所 新潟大学

### 1 退会・新入会員の承認

### 2 次回の研究大会について

二〇〇〇年一〇月に京都文教大学で開催。テーマは「家族の脱制度化と国民国家」の予定。

### 3 『比較家族史研究』について

4 『シリーズ比較家族』の刊行について

堀田 幸義

菊地 真弓

5 学術会議関連事項について

原田 純孝  
東北大学大学院 歴史科学

東京

窪田 信子

6 二〇周年記念特別企画について

飯島 康夫  
大学 民法

椎野 若菜

7 著作権協議会との委任契約について  
分配金の報告

新潟

鈴木 文子

### 新入会員

大学 日本民俗学

曾根 ひろみ

鈴木 智道

### 住所・所属等の変更

竹内 康博

坂岡 庸子  
東京大学大学院 教育社会学

住所・電話番号等変更  
飯田 恭

田淵 六郎

岩屋 さおり  
米大学 家族社会学

久留

五十嵐 真子

岩屋 さおり  
米大学 家族社会学

井上 和枝

寺内 浩

辻垣 晃一  
学大学院 日本近現代史

大阪大

犬塚 協太

寺崎 弘昭

辻垣 晃一  
学大学院 日本近現代史

上杉 妙子

永野 由紀子

陳 玲  
中世史

龍谷大学大学院 日本

岡田 浩樹

三成 美保

陳 玲  
中世史

戒能 民江

宮崎 幹朗

俗学

新潟大学大学院 民

戒能 民江

森本 一彦

善積 京子

所属変更

五十嵐 真子 神戸学院大学人文学部

井上 和枝 鹿児島国際大学

太田 素子 湘北短期大学

戒能 民江 お茶の水女子大学

菊地 真弓 いわき明星大学人文学部社会

北構 太郎 札幌大学経済学部

窪田 信子 富士フェニックス短期大学

清水 昭俊 一橋大学

竹内 康博 愛媛大学

利谷 信義 東京経済大学現代法学部

永野 由紀子 山形大学人文学部

林 由紀子 名古屋外国語大学

肥前 栄一 帝京大学文学部

真下 道子 ノートルダム清心女子大学

(非常勤)

姓名変更

松林義行→岡庭義行

退会

武井 正臣

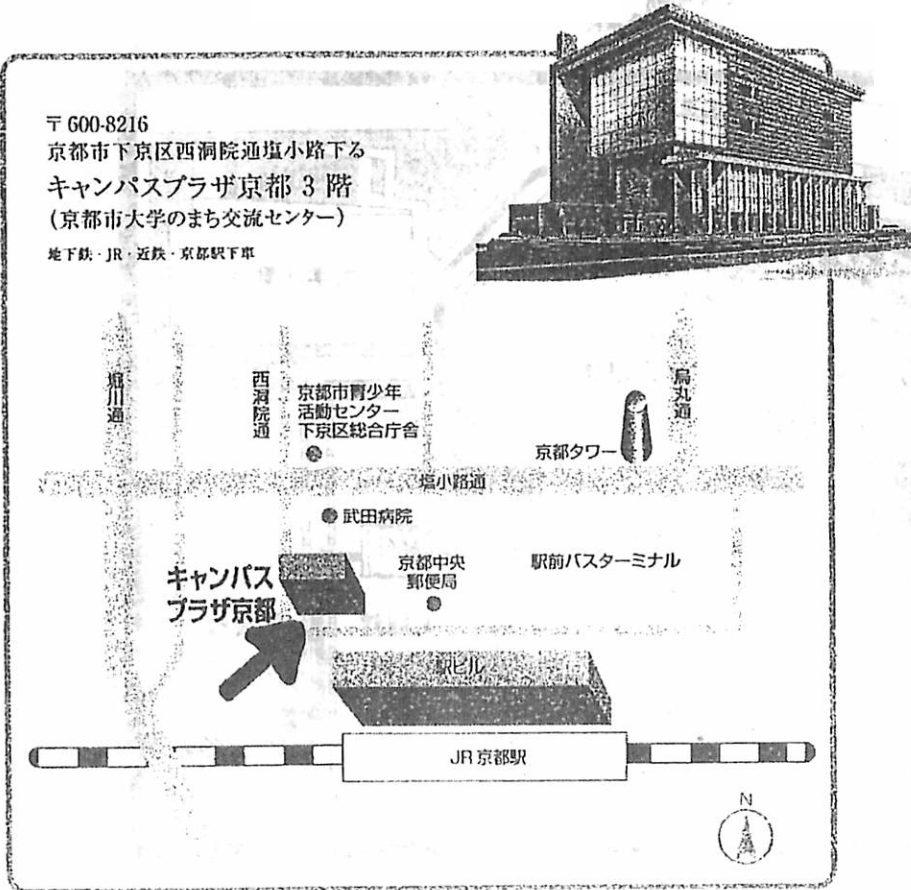
会員通信(事務局に連絡のあったもの)

・宮良高弘・森謙二編『江守先生古稀記念論文集』歴史と民族における結婚と家族』第

一書房、二二〇〇〇円、二〇〇〇年六月。  
・野村育世『北条政子 尼將軍の時代』吉川弘文館、一七〇〇円、二〇〇〇年八月。  
・森謙二『墓と葬送の現在』東京堂出版、二八〇〇円、二〇〇〇年六月。

◇この欄では会員の著作(単行本)を紹介していただきます。『比較家族史研究』の書評・文献紹介の資料ともなりますので事務局までお知らせください。

第38回研究大会  
懇親会(10月28日)・二日目(10月29日)会場  
(キャンパスプラザ京都)への交通案内図  
(28日の発表は別会場です。p.6を見て下さい)



〒600-8216  
京都市下京区西洞院通堀小路下る  
キャンパスプラザ京都 3階  
(京都市大学のまち交流センター)  
地下鉄・JR・近鉄・京都駅下車